

令和2年4月1日
医療法人 メディカルビットバレー
長岡市

大手通坂之上町地区市街地再開発事業C街区に進出 2022年春「エール長岡クリニック」開業

現在、UR都市機構が施行者となり進めている大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業のC街区（駐車・にぎわい棟）に、このたび、医療法人メディカルビットバレー（澁谷裕之理事長、内科医師、長岡市出身）が運営する「エール長岡クリニック」が進出し、米百俵プレイス（仮称）が目指す、まちづくり精神による新たな価値の創造機能として、2022年春の開業を目指します。

本クリニックは、開業にあたり日本各地から内科や皮膚科、膠原病リウマチ科など10人の専門医師が参画し、複数の専門医師による強力なチーム診療を実現するほか、AIを活用した新たな医療技術開発や若手医師の育成にも取り組むなど、市の進めるイノベーション施策と連携しながら、長岡発の新たな地域医療環境づくりにチャレンジします。

1 進出概要・経緯

(1) 場所・面積

大手通坂之上町地区市街地再開発事業C街区（駐車・にぎわい棟）1階約2,000㎡

(2) 予定テナント

「エール長岡クリニック」（医療法人メディカルビットバレーが運営）

(3) 開業時期など

2022（令和4）年春開業予定（C街区工事着工は2021年冬を予定）

(4) 経緯

○2014年に北越銀行と長岡市が締結した地域密着型包括連携協定を背景として、医療関係に強みを持つ北越銀行のテナントマッチングにより実現

○長岡市出身の澁谷医師が医療法人を設立（2020年3月認可）し、複数の医師によるクリニック開院を決意。



再開発事業エリア鳥瞰イメージ



C街区完成イメージ（1階で開業）

裏面に続く

2 医療を通じたまちづくり

- クリニック事業や研究開発事業、若手医師育成事業などを通じて、まちなかに新たな価値と交流を創造します。
- 米百俵プレイス（仮称）で実現を目指している人材育成のプログラムと積極的に連携し、子どもや若者の学びの場づくりに貢献します。
- 病診連携や診診連携を積極的に進め、他の医療機関とのネットワークにより市民の安心安全な医療環境づくりを進めます。

3 エール長岡クリニック

(1) 診療科

内科、小児科、皮膚科、膠原病リウマチ科、アレルギー科

(2) 特色

- ワンフロア約2,000㎡に最新の医療機器や手術施設等を備え、内科、皮膚科、小児科、膠原病リウマチ科、アレルギー科を標榜
- 複数の専門医師による強力なチーム診療
- 市民ニーズやまちなかの特性に配慮して、夜間や休日の診療を実現
＜休診日：土曜日 診療時間：平日9時～21時、日曜9時～15時＞
- 託児所を備えるなど、女性の医師やスタッフが活躍できる場づくり
- 診察だけではなく研究や医師の育成にも注力
- 合言葉は「好きな仲間と好きな場所で楽しくワクワク仕事して、サイコーの業績をあげる！」

(3) 運営者

医療法人メディカルビットバレー（現在、法人登記申請中）

①理事長 澁谷裕之医師（長岡市出身。元長岡赤十字病院総合診療科副部長）

②参画する医師は10人

- ・澁谷 裕之（理事長、内科医師）
- ・苅谷 直之（理事、エール長岡クリニック院長、皮膚科医師）
- ・伊藤 朋之（理事、エールホームクリニック院長、膠原病リウマチ科・内科医師）
- ・鈴木竜太郎（理事、小児科医師）
- ・藤本 篤（皮膚科医師） ほか5人

③設立経過など

- ・2020年3月27日に医療法人認可
- ・2020年10月に長岡市下柳地内に『エールホームクリニック』を開院
- ・2022年春、再開発事業区域に『エール長岡クリニック』開院

〔 問い合わせ：中心市街地整備室 電話0258-39-2807 〕